

 藤田金属株式会社

Fureai

Fujita Related All Information

2018 10.1
Vol.
267

国道289号 八十里越事業

県内屈指の注目工事で 大手顧客をトータルサポート。

【工場見学レポート】 リコーインダストリー 東北事業所
完成品メーカーの取り組みをヒントに、自らの業務を顧みる。

国道289号

八十里越事業



1. 工事の概要

八十里越事業は昭和61年に事業化され、平成元年に工事着手。現在も工事中である。新潟県三条市塩野渕から福島県南会津郡只見町叶津に抜ける約20.8kmの事業で、三条市と只見町との通行不能区間の解消、地域間の交流・連携、救命救急体制の向上、周辺観光地へのアクセス向上が期待されている。

2. 建設建材部の取り組み紹介

建設建材部では通常通り素材をメーカーへ手配し、外注業者とのタイプアップで切断・孔明け加工を実施した。一次加工品を東港倉庫に搬入し、付属金物の製作や取付けを行った。更に鉄筋工とのタイプアップで鉄筋を取付け、完成品とした。素材厚さ50mm、製品完成時重量6t以上／本の加工フローや、異業種混合作業のためタイプアップ業者選定や加工工場選定等に苦慮したが、メンバー全員で知恵を出し合い、試行錯誤しながら製品を完成させることができた。

今回の取り組みでは、新しいスタイルの成功例の一つとして、営業から現場までオールインワンでのサポートの仕組み構築と、今後の営業スタイルにプラスとなるような現場知識の蓄積に繋げることができた。

Visit The Construction Site

見学 レポート



見学日 2018年7月26日(木)
見学先 リコーインダストリー株式会社
東北事業所

工場見学 リコーインダストリー(株)東北事業所

工場見学ではライン作業を見せて頂きました。今までものづくりの最終形が作られる過程を見たことがなく新鮮でした。工場の中はとてもしきれいに清潔に保たれているという印象を受けました。その背景には5S活動がしっかり根付いていると感じました。5Sについて「雑務ではなく仕事そのものだ」というお話がありました。その状態が正常なのか異常なのかが見えるようにすることが5S活動だという言葉は印象に残りました。使ったものを元の位置に戻すなど当たり前のことを自分自身ができているか、工場ができていくかを改めて考える機会になりました。

もう一つ印象的だったことは三直三現主義です。三直三現とは、問題が起きたら、直ちに現場に行き、直ちに現物を調べ、直ちに現時点での手を打つことを言います。私たちの仕事の上でもこの三直三現は活きていると思います。加工現場、積み込み作業中、お客様へ納品した後など、トラブルはどこで起きるかわかりません。その問題が発生した時にどれだけ迅速に適切な判断を下し手を打つことができるかが、その後のリカバリーに繋がると思っています。

安全教育も全部で13コー스가用意されており、全てを受けるに1時間にもなると思います。雇い入れ教育の際や地元企業から要請があった際に安全教育をするのですが、災害・労災に繋がりにかねない事象を身をもって体感する機会があるのほとても良いと思いました。

リコーインダストリー様では、半期に一度防災訓練を行っていると言っていました。私たちも年に一度避難訓練を行います。東北コイルセンターは東日本大震災で大きな被害を受けた事業所です。私は当時東北コイルセンターにはおりませんでした。震災から7年が経ち、自然災害への意識が薄れてきているのではないかと感じます。災害は忘れた頃にやってくると思います。今一度自然災害に備える良い機会にならなと思います。

最初に感心したのは、ミーティングルームプロジェクトに地震が発生した際の避難場所が表示されていたことです。敷地約150,000㎡と広大なので、来訪者にも分かりやすく説明されていると感じました。

東北事業所では1,709名が働いており、リコーウエイの基本思想と行動のもと、ものづくりを行っています。「安全は全てに優先」し、問題が起きたら「三直三現」。直ちに現場に行き現物を調べ、現時点での手を打つと説明頂き、なるほどその通りだと思いました。また安全体感塾、KY道場などの説明を受け、最初は何が違うのだろうかという疑問に思っていました。実際に見学し、安全体感塾は災害を風化させないよう人の感受性を高く維持させ、KY道場はKY活動を活性化させ、マネキンを使用して現在行っている作業の動作を見直しており、違いがはつきりと分かりました。参考にしたと思います。ただそれでも労災0にはなっており、0災害は厳しい道だと痛感しました。

5S活動も進んでいます。「5Sの目的は維持が利益に」「5Sとは何か?」「正常・異常が見える」「5Sの狙い」「5Sによりムダを排除し効率の良いやり方に変える」「5S効果」「改善意欲向上」「安全のレベルアップ」「業務効率を向上しコスト削減する」。5Sは雑務ではなく仕事そのものと説明を受け、5S活動の大切さを改めて認識いたしました。

カイゼン活動も充実しており、ムダを廃止して最も効率の良いやり方を考

え、全員参加で活動を行っていました。無人搬送装置、作業のベースメーカー、移載機らくらくバンド、プリント画像自動検査装置など、自分たちで考え開発できる点は凄いなと思いました。

工場見学では最初にポリゴンスキヤナモーターについて説明頂きました。六面体のポリゴンミラーはモーターにより毎分数万回というスピードで高速回転し、回転に伴ってレーザー反射光はドラムに照射され、ドラムが回転することで複写機は画像の書き込みを行っています。複写の仕組みが全く分かっていなかったのも勉強になりました。次に安全体感塾、KY道場を見学し、複写機の組み立て工場見学をしました。組み立て工程において部品の取り忘れをアラームで知らせ、ある部品の組み込みが完了しないと工具の電源が入らず次の工程に進めないシステムや、ラベルの印字ミスやウエブカメラで画像認識するシステム、無人搬送装置など様々なシステムを駆使して組み立てを行っていました。組み立て工場の見学は初めてで、とても新鮮に感じました。

今回の工場見学では安全、5S、カイゼン活動が充実しており、学ぶ点がたくさんあつてとても参考になりました。ただその活動は生産作業終了後に行っているという、時間の取り方は難しいとも思いました。

この度は貴重な機会を与えて頂き、ありがとうございました。今後レーザーセンターに活かしていきたいと思えます。

Visit The Factory

数字で見る 藤田金屬

89%

女性の 育児休暇取得率

近年の経済環境や家庭環境の変化、また働く人の意識の変化などにより、働き方や生き方に対して多様な選択肢が求められております。藤田金屬では、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）実現のため、福利厚生制度の充実に努めております。

女性の人生の転換期の中には、「結婚」「出産」「育児」などがありますが、20年ほど前の日本社会では、結婚や出産を機に退職されてしまう女性社員が少なくありませんでした。以前は当社も残念ながらそのような女性社員がおりましたが、現在では結婚や出産、そして子育てをしながら働き続ける女性社員が多くおり、女性の育児取得率・育休復職率ともに高い数値を維持しております。ただ、男性の育休取得はなかなか浸透せず、女性男性合わせての育休取得率は23%と低迷しておりますが、2015年度に初めて男性が育休を取得されました。今後ますます男性も育休を取得できるよう、取得しやすいよう、働きかけを行ってまいります。

昨今、育児や介護などに伴う働く人のニーズの多様化に対応すべく、働き方改革法案への議論が高まっております。藤田金屬でも、多様な働き方・生き方を望む社員のニーズを柔軟に受け入れ、様々な人生の節目を経てもおお、働きたい方が長く働き続けられる会社を目指していきます。

